

一般社団法人 日本ELVリサイクル機構

平成27年度

貴金属類の共同出荷事業  
説明資料

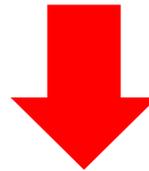
平成27年8月

資源循環委員会

# 本事業の概要

## 回収高度化事業(これまでの事業)

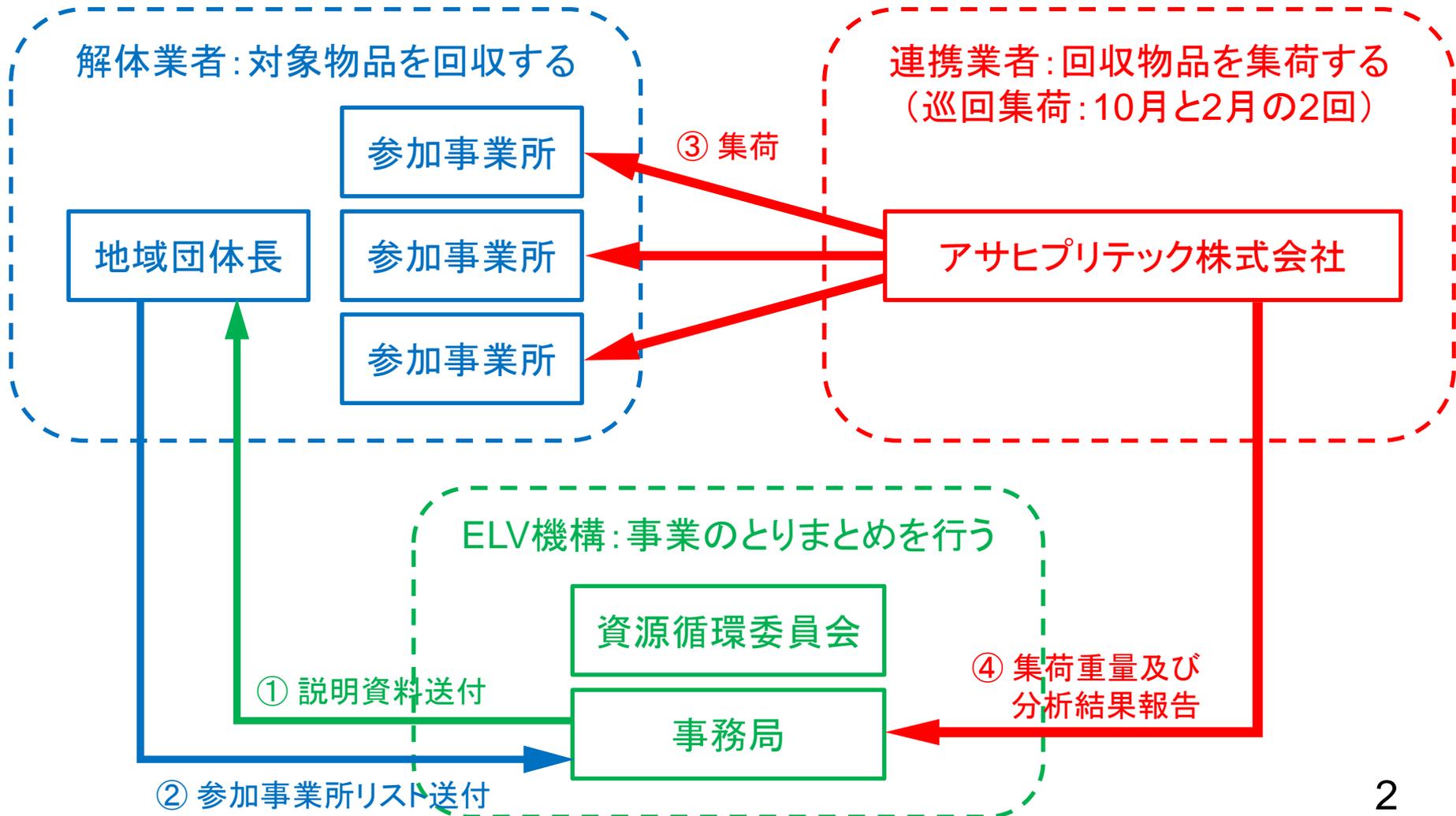
ELV機構は、平成23～25年度の3年度にわたって、環境省からの受託事業「自動車リサイクル連携高度化事業(=回収高度化事業)」を実施してきた。



## 貴金属類の共同出荷事業(本事業)

これまでの回収高度化事業の内容を各地域団体へ周知し、**ELV機構独自の共同出荷事業**として活動を継続していく。

# 本事業の概要



# 本事業のポイント

## 1. 巡回集荷は年度内に2回実施

市場の急変があった場合、  
集荷時期変更の可能性あり

■巡回集荷①:平成27年10月1日～31日

■巡回集荷②:平成28年 2月1日～29日

## 2. 買取単価は各巡回集荷時期の直前に提示

■巡回集荷①の単価:平成27年9月24～25日に提示

■巡回集荷②の単価:平成28年1月22日までに提示

### ※直前提示の理由※

現時点(集荷時期から離れた時期)で買取単価を出すと、  
リスクを大きくみた数字(低価格)になってしまう。

集荷時期に近ければ近いほど、よい数字が提示できる。

→ 回収量が多いと価格交渉がしやすいので、ご協力をお願いします。

# 本事業のポイント

## 3. 出荷時期は参加事業所で判断

- 各巡回集荷時期の直前に提示される買取単価を確認して出荷するか否かを参加事業所で判断
- 10月もしくは2月にまとめて出荷 } どちらの  
10月と2月、両方それぞれに出荷 } パターンでも可

## 4. 出荷の判断はアサヒプリテックが確認

- 各巡回集荷時期に合わせてアサヒプリテックが参加事業所それぞれに連絡し、出荷するか否か確認（出荷する場合はそのまま集荷時期の設定へ）

# 本事業のポイント

## 5. 幹事会社の設定不要

- 今回は幹事会社を設定せず、参加事業所を事前にELV機構が把握し、アサヒプリテックに連絡
- アサヒプリテックから参加事業所それぞれに連絡し、出荷準備状況の確認や集荷時期の設定などを行う  
→ 参加事業所はアサヒプリテックからの連絡を待つ形  
(各巡回集荷時期に合わせてアサヒプリテックから連絡)

  
地域団体長へお願い

団体内の参加事業所を把握し、参加事業所リストをELV機構事務局に返送してください。

リストの雛形は  
ELV機構事務局から送付  
※ 返送期日:8月31日(月)

# 回収対象物品

## ■対象物品

### (1) コンピューター基板

※ 基板のみの状態

■ エンジンコンピューター基板 (EG/CP基板)

■ エアバッグコンピューター基板 (AB/CP基板)

### (2) エアバッグカプラー

### (3) センサー類

■ O2センサー

■ A/Fセンサー



抽出が見込める貴金属類

金 (Au) 銀 (Ag) 銅 (Cu) プラチナ (Pt) パラジウム (Pd)

# 回収対象物品

## ■ 荷姿

- ✓ 段ボールでもフレコンバッグでも可。
- ✓ それぞれの回収物品は分けて梱包。  
……………例えば、エアバッグカプラーとセンサー類を  
一緒の段ボールに入れるのはNG。
- ✓ 出来る限り、1品目につき1梱包。  
……………例えば、コンピューター基板を段ボール3つに  
分けるよりフレコンバッグ1つにする方がよい。

※ 手で運べないような大きな荷物の場合は、積み込みのお手伝いをお願いします。

# 回収対象物品の詳細

## 1. コンピューター基板

### ■手順

(1) 二次分別を行う。



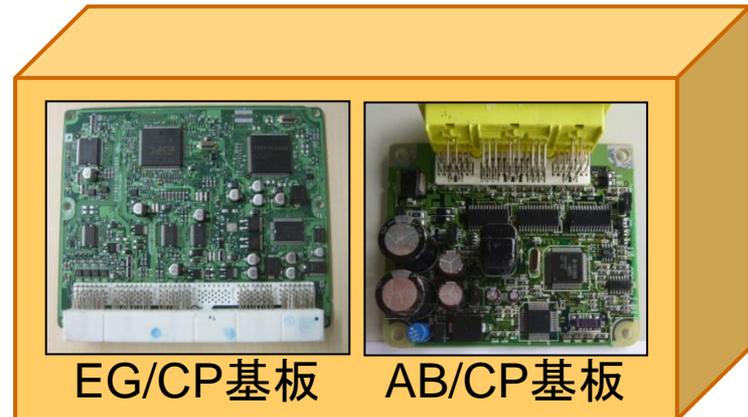
二次分別



解体工程で取り外した部品(一次分別)からカバーを外して基板を回収する。

(2) 基板だけの状態にした物品をまとめる。

EG/CP基板もAB/CP基板もすべてCP基板として一緒にまとめて、段ボールなどに梱包する。

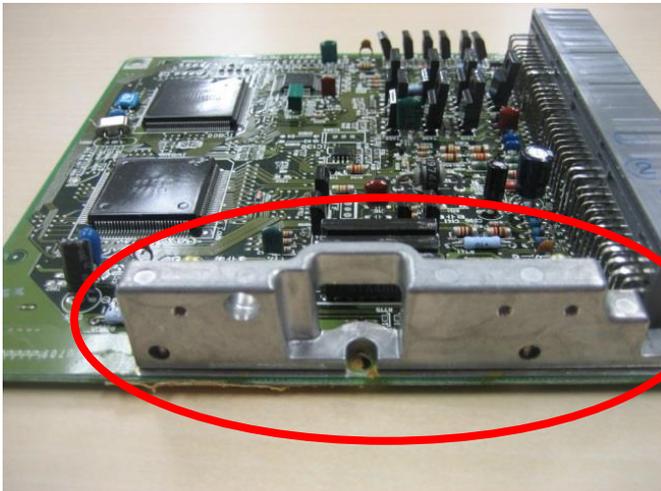


# 回収対象物品の詳細

## 1. コンピューター基板

### ■ 注意事項

- ✓ 基板にアルミ板や鉄板等が付いている場合、以下のどちらかの対応をとる。



[ 例:アルミ板が付いている基板 ]

- ① アルミ板や鉄板等を取り外す
- ② アルミ板や鉄板等が元々付いていない基板と分けて出荷する

※ アルミ板や鉄板等が付いていない基板と付いている基板とでは単価が異なる。  
(アルミなし > アルミあり)

## 回収対象物品の詳細

# 1. コンピューター基板

### ■ 注意事項

- ✓ カプラーは取り外しても付けたままにしても、どちらでもよい。
- ✓ カプラーを付けたままにする場合は、必ずワイヤーを1cm前後で切断する。

# 回収対象物品の詳細

## 2. エアバッグカプラー

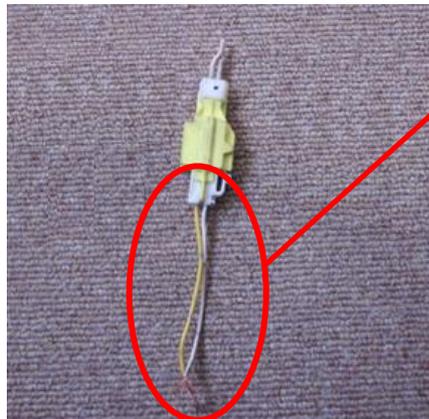
### ■対象

- ✓ エアバッグカプラー（ABカプラー）

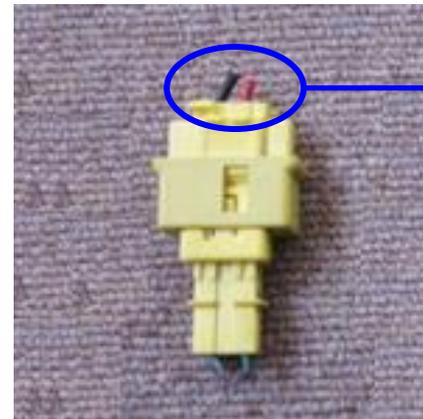
### ■ポイント

- ✓ 「オスだけ」「メスだけ」でもOK。
- ✓ ワイヤーは極力、短くカットする。

1台からできる限り回収  
↓  
運転席・助手席以外の  
ABからも回収OK



× 悪い例  
このように  
長いのはNG。



○ 良い例  
このように  
短いのはOK。

# 回収対象物品の詳細

## 3. センサー類 (O2・AF)

### ■ 対象

- ✓ O2センサー
- ✓ AFセンサー

これら以外のセンサー  
(排気温センサーなど)は  
対象外なので注意!



~~排気温センサー~~



O2センサー



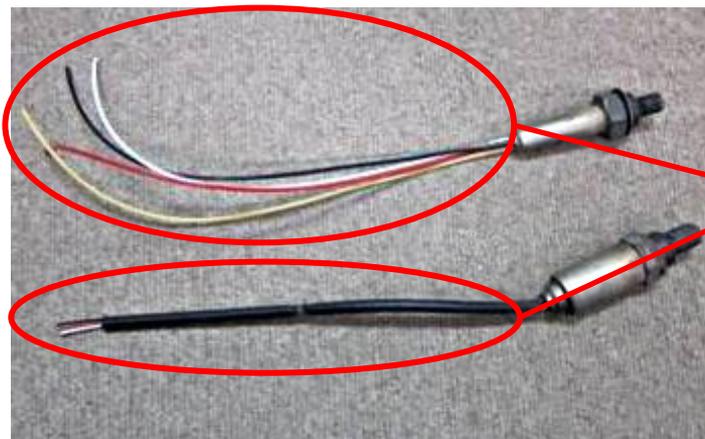
AFセンサー

# 回収対象物品の詳細

## 3. センサー類 (O2・AF)

### ■ ポイント

- ✓ 原則として1台からO2センサーとAFセンサー両方を回収する。  
→ 片方しかない場合、片方のみ回収する。
- ✓ ワイヤーは極力、短くカットする。



× 悪い例

ワイヤーが長いのはNG。  
極力、短くカットすること。

# 経費・対価

## ■ 成果物対価

買取単価は各巡回集荷時期の直前に提示(詳細はP3参照)

- ✓ アサヒプリテックより検収重量にもとづいてお支払い

- 巡回集荷後、1週間以内に各事業所に振り込み。  
(振込先＝巡回集荷時にアサヒプリテックが確認)  
(振込手数料＝アサヒプリテック負担)
- 検収重量は0.5kg単位での取引となる。

## ■ 回収作業費・梱包材料費

- ✓ 支給なし

以上、説明終了です。